



<原稿の書き方>

1. 日本語あるいは英語とする。
2. A4 判白紙横書き25 字24 行で作成のこと（英文の場合1 ページ約225words）。
3. 原稿の長さ

原稿種類	(1枚：25字24行)	英文の場合	刷り上がりページ
総説	20枚以内	4500words 以内	5ページ
原著	16枚以内	3600words 以内	4ページ
症例報告	12枚以内	2700words 以内	3ページ
技術報告	12枚以内	2700words 以内	3ページ
短報	8 枚以内	1800words 以内	2ページ
Letters to the editor	4 枚以内	900words 以内	1ページ

注) 図表・写真1 枚は原稿1 枚に換算する。
ただし、Letters to the editorは図表1点以内とする。

4. 論文は次の順に明記すること。
 - 4-1. 表紙
表題（和文・英文併記）：
但し表題が和文で50 字または英文で15words を越える場合は和文30 字以内または英文12words 以内の欄外見出し文（running title）を付記すること。
著者名（和文・英文併記）：
発表施設が複数の場合は著書名と施設名のそれぞれに番号を入れて区別できるようにすること。
所属（和文・英文併記）
連絡先（和文・英文併記）
 - 4-2. 英文要旨（"Letters to the editor"は除く）
200words 以内：ダブルスペース
 - 4-3. 英文キーワード（"Letters to the editor"は除く）
2 ないし5 個 ※MeSH(Medical Subject Headings) に準じる。
 - 4-4. 本文
原著、症例、技術報告、短報については目的、対象、方法、考察を明らかにすること。
また、第2項「B.研究倫理指針の遵守」に求められた研究倫理項目を論文内に明記する。
 - 4-5. 生成系AIの使用
 - 4-5-1. 生成系AI は論文の説明責任を果たせないため、著者・共著者とは認めない。
 - 4-5-2. 生成系AIを使用した場合、著者・共著者の貢献と責任を明確にするため、使用したツールと目的を論文内に明記する。
 - 4-5-3. 生成系AIを利用して作成した原稿や図表等をそのまま論文に使用し、論文の一部または全体が既存の著作物と酷似した場合、剽窃とみなされることがある。
 - 4-6. 文献
著者名は筆頭著者から第3 著者まで記載し、第4 著者以下は、和文では「他」、英文では「et al.」と記載する。文献番号は本文に引用された順とし、本文中の引用箇所右肩に、上付で片カッコを付けて記す。
著者が他誌から図表等の転載をする場合には、著者自身で必ず転載許可をとることとする。Letters to the editorは文献3編以内とする。
<雑誌>



著者名：論文題名. 雑誌名 発行年；巻：掲載ページ（始め－終わり）.

(例1) 沼尾 文香, 鈴木 圭輔, 竹川 英宏, 他：パーキンソン病とその関連疾患における経頭蓋超音波検査を用いた黒質高輝度変化のGray Scale Medianを応用した半定量的評価の検討. *Neurosonology* 2012; 25: 7-12

(例2) von Reutern GM, Goertler MW, Bornstein NM, et al.: Grading carotid stenosis using ultrasonic methods. *Stroke* 2012; 43: 916-921.

雑誌名の略名は医学中央雑誌（日本語）またはJournals in NCBI Databases（その他）に則（のつと）ること

<単行本>

著者または編者（監修者）名：書名, 発行地：発行所, 発行年, 総ページ数.

(例1) 金谷春之, 高倉公朋（監）：TCD マニュアルー経頭蓋超音波診断, 東京, 中外医学社, 1996, 155 p.

(例2) Zwiebel WJ, Pellerito JS : Introduction to vascular ultrasonography, Philadelphia, PA: Elsevier Science, 2004, 496 p.

<単行本のなかの1編またはある章>

著者名：章名, 編者あるいは監修者名：書名, 発行地：発行所, 発行年, 掲載ページ（始め－終わり）.

(例1) 古幡博：原理, 金谷春之, 高倉公朋（監）：TCD マニュアルー経頭蓋超音波診断, 東京：中外医学社, 1996, p 26-30.

(例2) Saver JL, Feldmann E: Basic transcranial Doppler examination: Technique and anatomy, in: Babikian VL, Wechsler LR (Eds.), *Transcranial Doppler Ultrasonography*, St Louis, Mosby Publishing Co, 1993, p11-28.

<抄録号>

著者名：演題名. 雑誌名（第〇回総会抄録集） 発行年; 巻(Suppl): 演題番号, 掲載ページ（始め－終わり）.

(例1) 藤代健太郎, 原田昌彦, 榎谷直司, 他：頸動脈IMTの肥厚に及ぼす因子の検討. 第33回日本脳神経超音波学会総会プログラム・抄録集 2014; 27(Suppl): O-8-5, 84.

(例2) Matthias Reinhard: Cerebral autoregulation: from concepts to clinical application. *Neurosonology* 2015; 28(Suppl) : PES-1, 65-66.

<電子文献>

タイトルには媒体を明示し、上記①～④に指定した項目に続き、識別コードまたは閲覧先URL.

(例1) 一般社団法人日本脳神経超音波学会(編):脳神経超音波マニュアルver.2.0 (CD-ROM). 大阪：一般社団法人日本脳神経超音波学会, 2014, 322p.

(例2) Sugawara R, Horinaka S, Yagi H, et al.: Central blood pressure estimation by using N-point moving average method in the brachial pulse wave [internet]. *Hypertens Res*



2015; 38, 336–341; doi:10.1038/hr.2015.5.

<Webサイト、Webページ>

著者名：Webページ名称. Webサイト名称(インターネット), (更新年月日, 閲覧年月日),
閲覧先URL.

更新年月日は、分からない場合、省略可。

Webサイトの名称が著者名と同じ場合、省略する。

(例1) 国立循環器病研究センター：肺高血圧症の臨床所見と診断. 循環器病情報サービス くわしく知る循環器病/医療従事者向け(インターネット), (更新日2011-10-31, 閲覧日 2015-05-26),
<http://www.ncvc.go.jp/cvdinfo/target-doctor/pulmonary-hypertension.html#anchor-1>.

(例2) U.S. National Library of Medicine: Structured Abstracts. Information for Publishers [internet]. [updated 2014 Oct 01, accessed 2015 Jul 23],
http://www.nlm.nih.gov/bsd/policy/structured_abstracts.html.

4-7. 図表、写真

4-7-1. 図や写真はそのまま印刷可能な鮮明なものとし、使用ソフトは原則として Microsoft PowerPoint とする。

4-7-2. カラー印刷を希望する場合はその旨を明記のこと。カラー印刷は有料となり、刷り上がり1頁につき2万円(税込)を請求する。

4-7-3. 図表はすべて英文とし、表題、表脚注、図説明は別紙に纏めて記載すること。ただし表に関しては表題、表本体、表脚注をまとめて記載してもよい。

4-7-4. Letters to the editorは図表1点以内とする。

5. 文字、記号等

5-1. 用語は「脳神経超音波学会用語解説集」に従う。

5-2. 数量の記号は原則として国際単位系 (SI) に統一し、m、mm、 μm 、kg、g、mg、 m^2 、l、ml、h (時)、min (分)、s (秒)、 $^{\circ}\text{C}$ などとする (cm は慣用的に用いてもよい)

5-3. 数字は、アラビア数字を用いる。ただし、漢数字を含む名詞、形容詞、副詞などは除く。

漢字例) 一部分、十数回、十二指腸

5-4. 年号表記は西暦とする。

5-5. 略語を使用する場合は、初出の個所に正式名を書き、それに続いて略語を括弧に入れて示す。演題および英文抄録中の略語の使用は避ける。

6. 電子ファイルの提出：本文、図の説明、表の説明文 (表題、表脚注) または表 (表題・表本体・表脚注)、文献および英文要旨などの電子ファイルを提出するものとする。引用文献のうち、PubMedに登録されていない文献については、書誌事項 (著者名、表題、誌名、年、巻、頁、など) が分かる部分をスキャンしたPDFファイルまたはコピーを添える。提出された電子ファイルの返却はしない。